

① ものづくり補助金 1次・2次締切の採択結果分析データを解説します！

昨日の配信で書いた通り、今回は昨日ものづくり補助金事務局が公表しました2次締切採択結果に関する分析データについて解説したいと思います。

- ものづくり補助金特設サイト上の分析データ >> <http://portal.monodukuri-hojo.jp/dataportal.html>

1) 採択結果の概要

* 2次締切結果

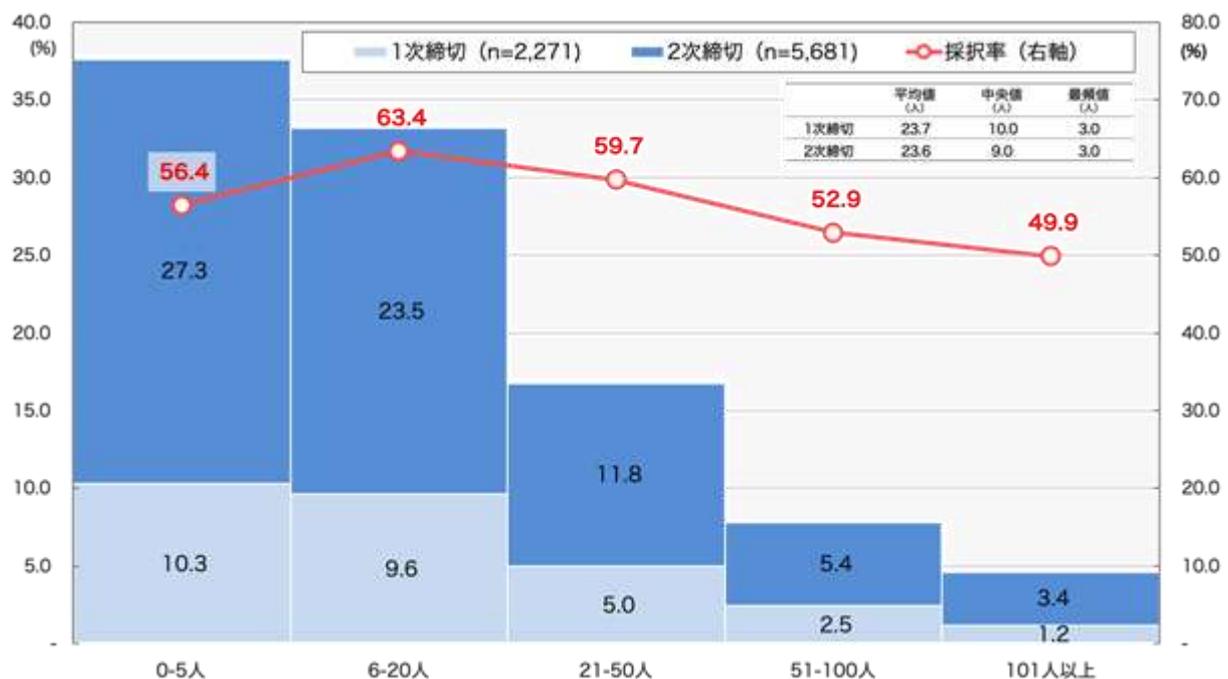
| 申請タイプ | 申請者数 | 採択者数 | 採択率 |
|--------|------|------|-----|
| 通常枠 | 2400 | 1494 | 62% |
| コロナ特別枠 | 3321 | 1773 | 53% |
| もの補助合計 | 5721 | 3267 | 57% |

* 参考：1次締切結果

| 申請タイプ | 申請者数 | 採択者数 | 採択率 |
|-------|------|------|-----|
| 通常枠 | 2400 | 1494 | 62% |

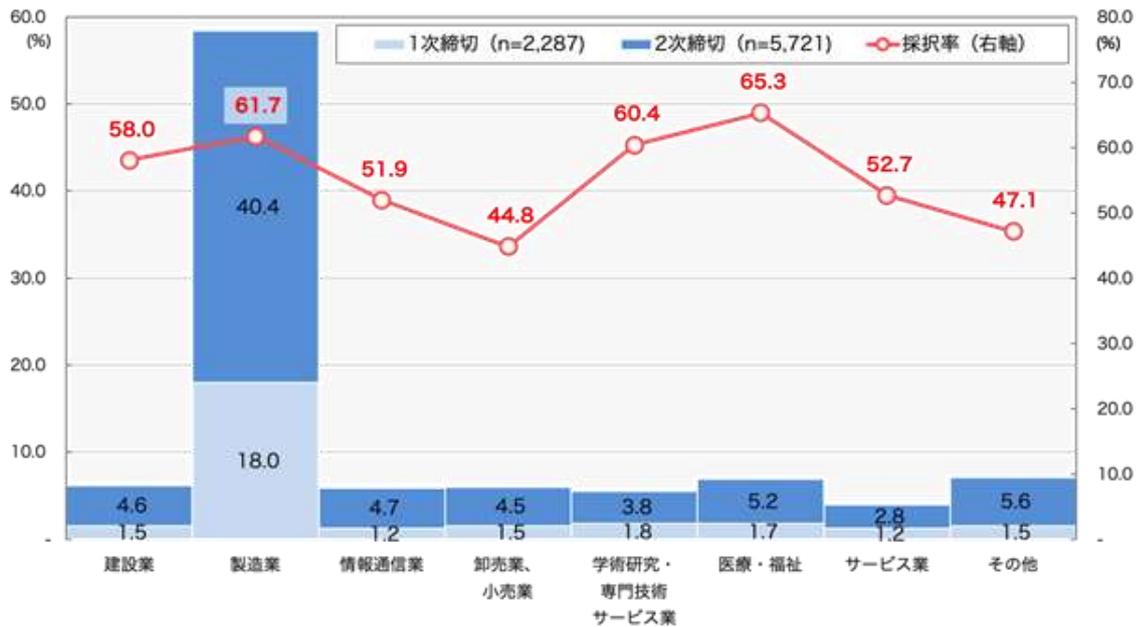
- 2次締切では「通常枠」に加え、初めて「コロナ特別枠」での公募が始まりました。今回の採択率は全体で57%となりましたが、通常枠の採択率の方がコロナ特別枠と比べ、9ポイント高くなっています。通常枠だけ見れば、1次締切と同じ62%。例年の採択率（40～50%ほど）に比べれば、今年は高い数字となっており、採択されやすくなったと言えるかと思います。
- やはり補助率の違いからか（通常枠1/2、特別枠2/3 or 3/4）、コロナ特別枠での申請数が予想より多かったような気がします。（全体の58%）

2) 規模別（従業員数）の申請者数・採択率



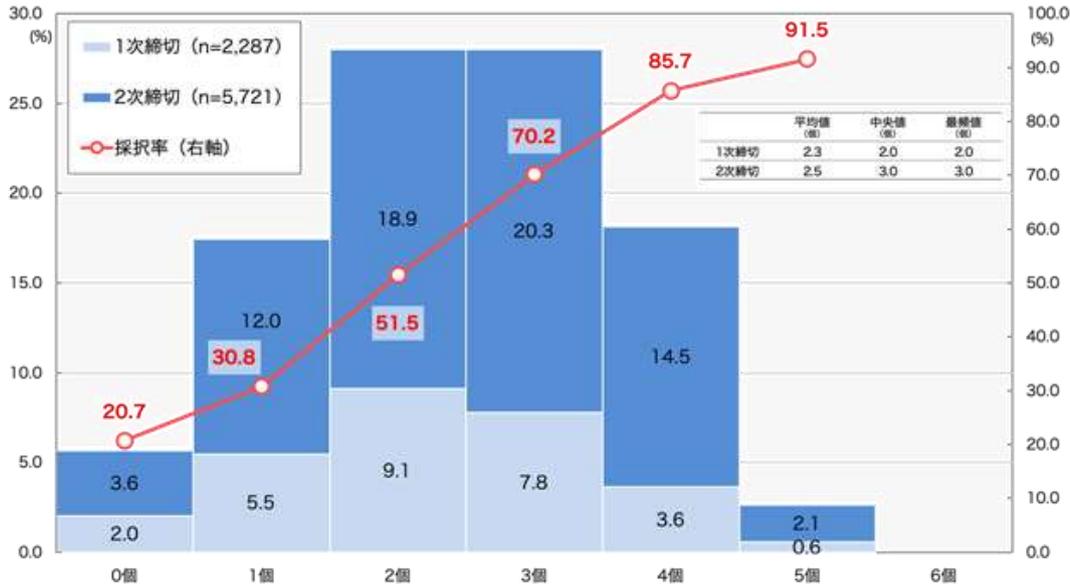
- 申請者の約70%が20名以下の小規模事業者であり、この70%は予想外に高いと思いました。
- 規模別採択率についても小規模事業者の方が、(20名超の)中小企業と比べてやや高くなっています。正直ちょっと意外な感じがしました。今年の公募では「政策加点」(小規模事業者と創業間もない事業者を優遇する)が大きく効いていたのかもしれませんが。また、中小企業には申請リピーターが多く、リピーター減点により小規模事業者より採択率が低かったのかもしれませんが。(単なる推測ですが)
- いづれにせよ、「しっかりと申請書(事業計画書)を書けば、規模は関係ない」「逆に採択されやすい？」と言えるかもしれません。

3) 業種別の申請者数・採択率



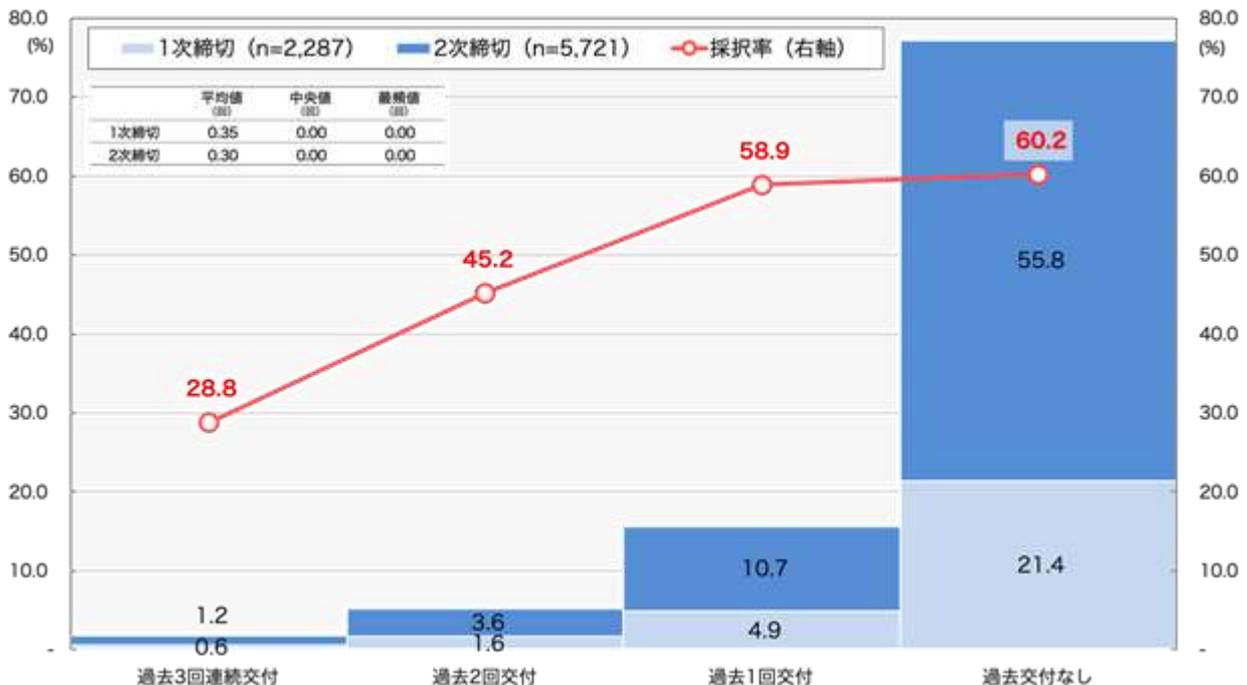
- 予想どおり、業種別では「製造業」が圧倒的に多いです。(全体の60%弱)製造業の採択率も他の業種と比べれば少し高いと言えます。
- 「医療・福祉」の採択率が高いのは、歯医者さんの申請が多いことが理由かも?今までもそうですが、採択者リストを見ると、本当に歯医者さんが多いのは事実です。
- 確かに採択者の60%ほどは製造業ですが、逆に言えばサービス業・商業・建設業が40%も占めているとも言えます。製造業以外の事業者様におかれても、大きな設備投資を検討している場合、初めから諦めるのではなく、是非ものづくり補助金の活用を検討して頂きたいと個人的に思います。

4) 加点項目の影響



- 加点項目は全部で6つ。(公募要領の19ページにあります) 平均値をみれば、申請書の皆さんは平均で2.5個ほどの加点項目を取っています。
- 当然、加点項目が多い事業者ほど、採択率が高くなっています。2次締切全体の採択率が57%でしたので、採択可能性を高めるために出来れば3つの加点項目が欲しいところですね。

5) 過去3年間の「ものづくり補助金」交付回数との関連性 (リピーター減点)



- ご承知の通り、「過去3年間に、ものづくり補助金の交付決定を受けていた場合、交付決定の回数に応じて減点する」となっています。上の表には、確かにこの減点項目の影響が現れているかと思えます。
- ただし、「過去1回交付」と「過去交付なし」の採択率は、ほとんど同じです。過去一回までであれば、あまり影響がない(減点が少ない)ように見えます。例えば、今回初めて採択された事業者

様が、1、2年後新たに大きな設備投資で申請された場合でも、採択の可能性は十分あると考えます。

6) 事業計画書の作成時間



- 申請者の事業計画書（申請書）作成時間の平均は2次締切で約70時間。採択者の平均はもっと多いかと推測します。
- 上限1000万円の補助金ですから、申請者の皆さんは十分時間を掛けて事業計画書を作成していることが見て取れます。
- 加点項目はありますが、やはり事業計画書の評価で一番重要であることは間違いありません。小規模事業者の経営者は本当に多忙かとは思いますが、申請する以上十分な時間を費やして、「具体的」で「説得力」のある事業計画を作成する必要があります。

7) その他の分析データ

- 一番上のURLには上記以外に以下の分析データが載っておりますが、当方の解説は割愛いたしません。
 - * 申請のタイミング
 - * 補助金の申請額
 - * 支援者の関与（補助金に対する報酬の比率）
 - * 申請までの支援期間